



大阪YMCA大会2015にて



THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

YMCA

大阪青年

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区上瓦町1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。
URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>

Let there be Hope

—希望あれ—



大阪YMCA
総主事
すえおか よしひろ
末岡 祥弘

昨年は日本の戦後70年、平和を考える年でしたが、世界中でテロ、紛争、疾病、人権侵害、環境破壊、自然災害など多くの人々に影響を与える事柄を私たちは経験しました。

2016年を迎え、昨年の世界YMCA/YWCA祈祷週で与えられた聖句を今一度吟味したいと思います。

「わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。」(コリントの信徒の手紙二 4章8節～9節)

そして、祈祷週テキストの一節には次のような内容が述べられています。

「最も心配なのは、テロリストの焦点が、若者をテロ犯罪者に仕立て上げ、暴力の犠牲者にしようとしていることです。…今の世界に生きる若者たちは失業、暴力、差別による攻撃、非人間的な扱いなどの社会構造の中で重荷を負わされています。若者が疎外され、過小評価されていると感じることは、暴力的で自暴自棄な、抗議の形に転嫁していきます。若者は何か意味のある目的と行動を必死に求めており、何か良いこと、素晴らしいことを行う中で、自らの明確な目的を持ち、活発な役割を担うことのできる環境が必要なのです。」

大阪YMCAは、「希望を持ってともに生きる社会—ネットワーク型福祉社会」の形成と「グローバルに若いチェンジメーカーを育む活動」に焦点を当て、世界に共通する社会課題に対して、その使命を具現化しようとしています。

大阪YMCA大会2015の「ユースフォーラム」では、留学生、高校生、ユースボランティアリーダー、UNI-Yなど100名を超える様々な活動に関わるユースが協議しました。「あなたがYMCAでつけたセカイは何ですか？」の問いに対しては、下記のような答えが出されています。

- 新しい自分を発見させてくれた世界。
- 多様な世界。知らないままでいることは、現実を知ることよりずっと恐ろしいと気づいた。
- いつも自分が成長できる世界。
- 普段出会わない人との出会いで視野が広がる世界。未知の世界

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神はくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代のひとびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

に足を踏み入れることもグローバル体験。

- 若者が若者を自らエンパワーできる世界。

これらの協議を通して、YMCAで重要なものとして、「①つながり、②多様性、③場所」の3つのキーワードがユースの代表から発表されました。

2016年度のYMCAで行われるプログラムにこれらキーワードが反映され、年齢や性別、国籍や民族等にかかわらず、すべての人に開かれ、人が人として尊重され、「希望を持って共に生きる社会」を作りだしていくYMCAの願いが着実に現れるはたらきを皆様とともに進めたいと思います。

—未来へ歩む若者に—

May the road rise to meet you.
May the wind be always at your back.
May the sunshine warm upon your face.
And rains fall soft upon your fields.
And until we meet again,
May God hold you in the hollow of His hand.
(アイルランドの祝辞)

道があなたの前にありますように。
風がいつもあなたの背中を押してくれますように。
日があなたの顔をあたたかく照らし、
雨があなたの畑を潤しますように。
そしてまたあう時まで、神様がその手のひらで
あなたをやさしく包んでくれますように。

INDEX

・ Let there be Hope—希望あれ—	1P
・ 大阪YMCA大会2015報告	2P・3P
・ 災害地への援助報告	3P
・ ピンクシャツデー告知	
・ 中日本区YMCAグローバル教育研修会案内	
・ 土佐堀パストラルアワー案内 ・ 食育コラム ・ 早天祈祷会	
・ ご寄付の報告 ・ 会員 ・ 賛助会	4P

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界のひとびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

No.686

2016
1-2月号

YMCA 大阪YMCA大会2015

11月27日(金)と28日(土)の2日間、土佐堀会館にて「大阪YMCA大会2015」が開催されました。今大会では、次世代を担うユースが主体となって協議・発信する「ユースフォーラム」を中心に、Yボランティア(会員)の研鑽と交流として「Yアクショングループ代表者会」、各種表彰式や事業活動報告を行う「Yボランティア(会員)の集い」、さらに、関連プログラムとして、中高齢事業関連の「国際シンポジウム」や教育事業関連の「発達支援国際フォーラム」も催され、多くの人が集いました。

ユースの2人が司会を務めました。



大阪YMCAで学ぶ留学生に、国際奨学金が授与されました。

ユースフォーラム

「世界とつながる」をテーマに開かれたユースフォーラムには、現在活動中のユース、20年前のユース、40年前のユースなど、100名を超える多様な世代の人たちが集いました。それぞれが「YMCAでつけたセカイ」を繰り返し語り合ったワールドカフェを通して抽出された数多くのイメージをユース代表の人たちがまとめた3つキーワードが「つながり」、「多様性」、「場所」でした。あなたがYMCAでつけたセカイは何ですか？



ワールドカフェでは、それぞれが気づいたことや共感したことを模造紙に書き留めながら、活発に意見が交わされました。



ワールドカフェの後、参加者全員で手をつないで閉会したことで一体感が生まれました。

Yボランティア(会員)の集いで、ユース代表者がユースフォーラムで得たことを報告しました。



キーワードは、「つながり」「多様性」「場所」

Yボランティア(会員)の集い

ユースが企画し新しい構成になったステージで一体感が生まれ、ユースによる司会、変革を感じさせる幕開けとなりました。

Yボランティア(会員)表彰では、インタビュー動画を交えながらの紹介で、会場はYMCAストーリーに満ち溢れました。

国際奨学金授与式の後には、Yアクショングループ代表者会議とユースフォーラムの報告があり、会場はこれからのYMCAの活動への大きな期待に包まれました。



Yボランティア(会員)表彰

(敬称略)

「奉仕の書」受賞者

- ・石津 雅人
- ・金澤 拓
- ・栗田 達夫

10年継続会員

- ・東里 英実
- ・植田 延江
- ・甲斐 克司
- ・鍛冶田 雅弘
- ・川本 かおる
- ・木村 容子
- ・坂井 祐菜
- ・佐道 大倫
- ・城 純一
- ・ジョン マーフィ
- ・平良 勇人
- ・高橋 沙保里
- ・塚 理
- ・津村 紀三代
- ・早瀬 和人
- ・平井 美帆
- ・前田 薫
- ・松田 有希子
- ・八木 知加
- ・雪本 洋美
- ・吉田 亜衣
- ・吉村 啓子

25年継続会員

- ・荒賀 めぐみ
- ・尾和 信孝
- ・小寺 規久子
- ・清水 汎
- ・仲原 成岳
- ・長谷川 ゆかり
- ・堀田 牧子
- ・松下 仁
- ・松原 伸幸
- ・守谷 久代

50年継続会員

- ・大谷 勝彦
- ・河本 武久
- ・斉藤 光弘

51年以上継続会員

- ・井上 都志弘
- ・今村 一之
- ・岩坂 正雄
- ・宇野 義男
- ・瓜生 菊雄
- ・恵美奈 博光
- ・岡本 昇
- ・後藤 清
- ・酒井 哲雄
- ・坂口 治男
- ・佐川 隆二
- ・鈴木 璋三
- ・滝口 敏行
- ・田中 義宣
- ・津野 忠昭
- ・寺川 克
- ・富田 泰子
- ・中川 善博
- ・中芝 永次
- ・中村 勝吾
- ・野村 忠彦
- ・灰谷 隅夫
- ・橋本 憲之
- ・藤井 英世
- ・眞嶋 克成
- ・増成 恒哉
- ・文字 文男
- ・米澤 保男
- ・若木 正実

世代表彰 受賞者

- ・池田 勝一
- ・池田 ゆかり
- ・ト田 啓三
- ・ト田 昭子
- ・ト田 真一郎
- ・中村 隆
- ・中村 実樹
- ・西川 勝久
- ・西川 航平

特別表彰 受賞者

- ・影絵ザ・とんぼ
- ・コールアゼリア
- ・とさぼりサマーセミナー実行委員会
- ・宮本 ルミ子 (YMCAサンホーム地域包括支援センター)
- ・特別献金感謝
- ・功労賞
- ・中川 慶一 (サンホーム 喫茶ボランティア)
- ・とさぼりカーニバル実行委員会
- ・南YMCAライブラリコンサート実行委員会
- ・坂巻 玲子
- ・松岡 虔一
- ・西村 耕

発達支援事業国際フォーラム

海外YMCAや全国YMCAのみなさんと共に、竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授・大阪YMCAサポートクラススーパーバイザー)からお話を伺いました。テーマは「日本の特別支援教育とYMCAの可能性」。民間として先駆的に発達障がい児プログラムを行ってきた日本のYMCAへの今後の期待や展開を考える時間となりました。海外YMCAにとっても大きなヒントとなりました。



Yアクショングループ代表者会議

「大阪YMCAの全てのプログラムにボランティアが参加している」状況を作り出すために、各アクション(活動)グループの代表による報告会を開催いたしました。20グループ、約40名の参加者からの報告には、誰かと課題を解決したいという意思、その意思への賛同者がいることの大切さ、さらには、何か役に立ちたいと願う人たちがいかに巻き込むかという課題提起など、共通した願い、思いがありました。また、寄付金集めにも参考となる報告でした。

これを機に、さまざまな方が気軽に興味、関心のあるアクションに参加し、ご自身を活かせる「場」となることを願っています。



介護予防国際シンポジウム(地域支援総合事業)

基調講演では桜美林大学大学院 白澤政和教授から、民間ボランティアの開発・養成への期待及び重要性について講演いただき、また東アジア(台湾・韓国・日本)での介護予防の取り組みを紹介しました。大阪府、市町村、地域包括支援センターや介護事業者、関係諸団体から約80名のご来場がありました。



地域のサポーター、ボランティアの養成とその積極的な働きが今後ますます必要とされています。自助、互助を強め、民間と行政諸機関が力を合わせ積極的に社会課題を解決し、より良い地域づくりを目指していくことを参加の皆さんと共に確認しました。



YYYフォーラム

8月のワイズメンズクラブアジア大会に付随して行われたユースコンボケーションに参加した学生から、「こんなに楽しいAYC(Asia Area Youth Convocation)」というテーマで、世界のユースとともに体験した大会の様子や報告があり、この楽しかった大会を平和に結び付けたいというメッセージが伝えられました。また「YMCAはワイズに何を求めているか、ワイズはYMCAに何を求めているか」や「今こそY'サカ」というテーマでの講演がありました。

災害地への援助報告

ネパール大地震支援

大阪YMCAは、2015年4月25日に発生した地震で被災されたネパールの方のために、援助プログラムを実施しています。これまでにテントを現地に直接届けたり、募金活動を行ったりしてきました。

11月3日に末岡総事がネパール大使と会話し、大阪YMCAに集まったネパールへの支援募金が、日本YMCA同盟を通してDhading区にある小学校の再建に使われることになった旨をご説明し、お礼のお言葉をいただきました。



マダン・クマール・バットライ 大使(左)

常総市水害募金活動

大阪YMCAインターナショナルスクール5年生のカイ・グリーン・サトウくんが、全校・生徒会・PTAに提案して、2015年9月10日の台風18号により発生した水害のための支援募金活動を実施しました。11月16日、カイくんが末岡総事を訪問し、1ヶ月間で集めた91,928円を贈呈しました。

以下、カイくんのPTAでのスピーチの抜粋をご紹介します。



「きっかけは現地の子もたちがSNSを使って、茨城県常総市水害被災地域のボランティア募集や、自分たちもボランティアをしていることを母と見たニュースで知ったことです。自分にも何かできることがあるし、実際に行動しなければと気づきました。僕はアメリカ出身で、9・11の時に世界中の人がアメリカを支援してくれていたのを見ています。そんな僕が、今こうして皆さんに支援の呼びかけをしているわけです。様々な文化や宗教を背景にもつ僕たちですが、僕たちがひとつになり、自ら誰かのために何かをしてあげることができるはず。一人の力は小さくとも僕たちが行動することにより、他の学校や周りの人たちに、誰かのために何かをすることを実際にやって見ることがとても大事だと思うのです。YMCAはそのためにあるのですから、ぜひ僕たちも彼らのために行動しましょう。」

♡ PINK SHIRT DAY (ピンクシャツデー) 2016を実施します!

「イジメのない世界をつくろう」♡

大阪YMCAでは、これまで、「いじめ」をなくすための様々な教育や研修、指導と対策を行ってまいりましたが、世界的な「いじめ」撲滅運動に連なることで、改めて意識的に取り組むための機会をつくるため、全国YMCAと共に「PINK SHIRT DAY(ピンクシャツデー)」を実施いたします。大阪YMCAに繋がるすべての人にご参加を呼びかけます。



PINK SHIRT DAY (ピンクシャツデー)とは

2007年カナダの二人の学生から瞬く間に世界中に広まった世界的いじめ反対運動。
 ピンクのシャツを来て登校した少年が「ゲイ」といじめられた。
 それを見た二人の学生が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り翌日登校した。
 学校では呼び掛けに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。
 学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなった。
 そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、
 現在では70ヶ国以上の国で活動が行われている。
 カナダでは毎年2月最終水曜日がPink Shirt Dayとして定められている。



内容

期間 2016年1月~3月

- ① 2016年2月24日(水)、大阪YMCA全体で各事業所に関わる全ての人に参画を促します。(参加しなくてもいいというわけではありません。)協力可能な方は、ピンクのシャツなどを身に付けて一日を過ごしてください。
- ② 各事業所でも、「PINK SHIRT DAY(ピンクシャツデー)」に対する取り組みを実施します。

第16回 中日本区YMCAグローバル教育研修会

グローバルな課題と平和について学び、考えよう

日時…2016年2月13日(土)~14日(日) 1泊2日

会場…六甲山YMCA

内容…グローバルな課題と私たちの繋がりを捉え、YMCAの活動を通して何が出来るかを考えます。特に今回は、本来の意味で「積極的に平和を創り出すこと」について学びます。

ファシリテーター…奥本 京子氏 (大阪女学院大学 国際・英語学部 教授)他

問合せ…大阪YMCA本部事務局(担当:船戸)

TEL:06-6441-0894 申込締切:2016年2月5日(金)

定員:30名
 参加費:8,000円
 (食事・宿泊費含む)

土佐堀パストララーワー

大阪YMCA国際専門学校高等課程主催で、10月より毎月第3金曜日に「土佐堀パストララーワー」を開始しました。各教会より牧師先生を毎回ゲストに迎えて、聖書の学びと証しを伺うひと時です。スタッフの勉強会という位置づけですが、高等課程以外のスタッフはもちろん、興味のある方はどなたでもご参加いただけますのでお問い合わせください。

日時…2016年1月15日(金) 18:00~19:15、入退室自由

場所…大阪YMCA会館 4階402A教室

担当…本庄 侑子先生 (日本基督教団大阪教会 伝道師)

問合せ…大阪YMCA国際専門学校 国際学科

TEL:06-6441-0848

人によって異なる様々な「おいしさ」



つじもと わかな
 YMCAあわぎ保育園 スタッフ 辻本 若菜

「おいしさ」とは何でしょうか。私たちはどのようなときにおいしいと感じるのでしょうか。

同じ物を食べても、人によって感じ方はそれぞれです。また大好きな物を食べても、いつもと味が違う気がしたり、旅先でおいしかった物が家では違う味に感じたりと、同じ人でもおいしさは変化します。

「おいしさ」という言葉は、「食べる行為に伴って引き起こされる、やわらいだ、楽しく、よるこぼしい感情」や「体が要求する物や好きな物を食べたときに湧き上がる快感、満足感、至福感」であると言われています。

「おいしさ」は大きく分けて3つの要因から成ります。香りや外観など「食物の特性」、性別や年齢、お腹のすき具合や健康など「食べる人の状態」、地域性や今までの食経験など「食べる人の環境」の3つです。たとえば地域性とは、お雑煮が関東はすまし、関西は白味噌が多く、子どもの頃から食べ慣れている物が食経験となって、おいしく感じやすいということです。このように「おいしさ」は様々な要因から成るため、ある食べ物を食べて、「おいしい」と感じる人もいれば、「苦手」と感じる人もいるのは当然のことなのです。

YMCAあわぎ保育園では、子ども同士で、また保育者と「おいしいね」と会話をして、楽しんで食事をしています。共に食事をとりながらコミュニケーションを図ることで、心が満たされ、よりおいしく感じるができます。また見た目や柔らかさを少し変えるだけで、苦手な物でも食べられたり、香りや温度が食欲をそそることもあります。寒い季節には温かい物が美味しく感じるので、冷めやすいこの季節には保温に注意しながら食事を提供しています。香りや見た目を大切にしながら様々な味を楽しみ、子どもの様子を見ながら、環境を整えておいしいと感じてもらえる給食を提供していきたいと思えます。

私たちの生活の中では、おいしいものを食べることは喜びです。様々な「おいしい」体験を通じて、食事を素敵なものになりたいですね。

大阪YMCA早天祈祷会

【第273回】

日時…2016年1月15日(金) 7:30~8:30

証し…Chan Wanduragalaさん(大阪女学院大学 講師)

【第274回】

日時…2016年2月19日(金) 7:30~8:30

証し…渡辺 宏子さん(大阪なかのしまワイズメンズクラブ会員)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

ご寄付に感謝申し上げます

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区大会実行委員会様から、青少年の活動のために40万円をご寄付いただきました。ユース世代がグローバルに活動できるよう、大切に用いさせていただきます。ご支援に心よりの感謝をもって、ここに報告させていただきます。

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2015年11月度報告・敬称略

【継続会員】

中久木 康弘
 阿部 恩
 工藤 健気
 菅 秀晃

【継続賛助会員】

中久木 康弘
 仲原 成岳
 橋本 憲之
 藤崎 優希

【継続賛助会員】

堀田 牧子
 守谷 久代
 株式会社亀井組
 レッキス工業株式会社